

第8回「視覚障がい者対応研修」を実施 ～ 職員46名が受講 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、2月2日（水）、職員を対象に第8回「視覚障がい者対応研修」を実施しました。

当金庫では、障がいのあるお客さまに安全で安心、そして円滑な取引を行っていただけるよう、さまざまな取り組みを進めています。その一環として、視覚障がい者に関する正しい知識を身に付け、ご家族や支援者の活動も併せてサポートし、地域社会に貢献することを目的に、平成27年から本研修を毎年実施しています。

8回目を迎える今回も新入職員全員と希望者を対象に、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年に引き続きオンラインでの実施となりました。当日は、大阪市社会福祉協議会と大阪市福祉教育語りの会から講師を招き、視覚障がい者の思いや接し方、誘導方法のポイント等について、実演を交えてわかりやすい説明を受けました。続いて、当金庫事務部の職員による代筆の取り扱い、サインガイドの使用方法、手話でのあいさつの仕方などの研修も実施しました。

今回の受講で得た知識を生かし、障がいのあるお客さまに寄り添い、少しでも安心してお取引いただける対応を実践し、お客さまの利便性の向上に努めてまいります。

記

1. 研修の概要

- | | |
|----------|---|
| (1) 実施日 | 令和4年2月2日（水） |
| (2) 受講者数 | 46名 |
| (3) 講師 | ・社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
阪井 誠一氏
・大阪市福祉教育語りの会
鈴木 昭二氏、山本 美恵子氏
・当金庫 事務部 職員 |

2. 視覚障がいのあるお客さまに配慮した当金庫の主な取り組み

- (1) 視覚障がい者の代筆・代読の実施とサインガイド(自署いただく箇所がわかる型枠)の設置
- (2) 視覚障がい者対応ATMを設置
- (3) 視覚障がい者用 音声による来店案内システムを導入（一部店舗）
- (4) 点字ブロックの敷設、点字による取引記録明細、満期案内の発行等
- (5) 窓口振込手数料の引き下げ（ATM扱いと同額）



誘導方法を実演する講師（右）



当金庫の取り組みを説明する職員

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

